

接続語 レベル3

月 日
名 前

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

中国の春秋時代、琴の名手である伯牙の弾く曲を、その友人の鍾子期はよく理解したという。(1) その後、鍾子期は亡くなってしまふ。伯牙は、もはやこの世に自分の琴の音を真に理解してくれる者がいないことを悲しみ、(2) 琴の弦を断ち切り、二度と琴を奏することはなかったそうだ。(3) この逸話がもとになり「互いに心をよく知り合い、許し合った友達、親友」を指す「知音(ちいん)」という言葉が生まれた。伯牙が(4) どのような音色を奏でていたのか、現代の我々には知るよしもないが、この逸話は芸術というものが持つある特徴を示唆している点で興味深い。それは演者と聴衆が呼応しあうところに名作・名演が生まれるという点である。(5) 、どんなに素晴らしい作品や演奏であったとしても、それを理解し享受するものがいなければ名作・名演は成立しないのである。

- ア だが イ いったい ウ それゆえ エ ちなみに オ 言い換えれば

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

ある者が物質Aを熱することで物質Bの生成に成功したとする。そして、別の多くの者たちが同じように物質Aを熱することで物質Bの生成に成功したとする。(6) 同じ実験結果が多くの人によって再現されたとき初めて、それは科学的に正しいということができる。すなわち「他者による再現性」こそが科学の特徴である。(7) 、ある人がやれば成功するが、別の人がやると成功しない現象を科学と呼ぶことはできない。(8) 、現代においてとても科学と呼ぶことのできないようなものが、(9) 科



学であるかのように扱あつかわれている。
えている。

(10)

血液型えき占つちいなどもその一つであると私は考

カ たとえば

キ まるで

ク このようにして

ケ だから

コ けれども